

共同体育館に係る
整備内容の検討について

1 第2回共同体育館整備に係る意見聴取会議での主な意見(論点別)

大学の教育・研究機能の向上

<委員意見>

- ・ 大学で研究上のニーズがあるのなら、体育館を一時的に実験で利用したり、レンタルラボを設けることなども考えられる。
- ・ 先端的で、地域と調和した施設となれば、大学としてかなり大きな宣伝効果がある。

大学スポーツ等の拠点形成

<委員意見>

- ・ 大学利用状況を踏まえながら、地域や大会等での利用を考えていくことが必要。
- ・ 共同体育館で大学医学部の体育大会（医体）を開催できるようにしてはどうか。

大学体育館としての利用

<委員意見>

- ・ 共同体育館は、学生・地域・府それぞれの意見の真ん中に三方よしとなるような施設として位置付けられるべきもの
- ・ 大学がメインで利用する場所と地域等で利用する場所は、明確に区分しても良いのではないか。

周辺環境との調和と地域住民の利便性の向上

<委員意見>

- ・ 地震や水害等の災害時に地域の安全拠点となるような施設になるとよい。
- ・ 日常的に体育館を利用されていると、緊急時にも使いやすくなる。
- ・ 住民にとって身近な施設となれば、大学への親近感も湧く上に、研究成果の情報発信もできるので、他大学から見てうらやましく思う。

誰もが使いやすい体育館

<委員意見>

- ・ 多様性と調和に配慮した施設整備を行う際には、多くの方がそこに集えるようなアクセシビリティの確保が重要（障害のある方・ない方、性的マイノリティの方などにも対応した作り）
- ・ 温暖化が避けられない中、安全に人々がスポーツできるよう、エネルギー性能・断熱性の高いものを作り、光熱費ができるだけかからずに、安全に活動できるようにするという視点が大事

2 府民ワークショップでの主な意見

■北山エリア整備に係るワークショップの概要（令和4年11月27日・12月4日）

共同体育館については2日で計30名が参加（各日3グループに分かれグループ内で自由に発言）

<共同体育館に対する意見>

（共同体育館に求める機能等について）

- ・府民が気楽に使えるトレーニングルームや、雨の日でも走れる場所などが欲しい。
- ・暑さ対策や雨対策もできるので、体育館で運動会を開催したい。
- ・災害時には避難場所等として機能できるようにしてはどうか。

（観客席について）

- ・普段はコートを広く使えたり、プロスポーツの時は動員数を増やすために対応したりするなど、多目的多用途で使えるように、観客席の形を変えられるようにしてはどうか。
- ・大学の施設なので、常設の観客席をなくして、壁収納などの最小限の移動式客席にすればいい。
- ・子どもから高齢者までが座りやすい観客席があるといい。

（運営について）

- ・大学に加えて、地域利用まで行くと競技団体が使える余地がないのではないか。
- ・スマホアプリで予約できるようにするなど、使いたい人が使いやすい仕組みを検討して欲しい。
- ・運営を学生と一緒にできるとよいのではないか。

（共同体育館のあり方について）

- ・大学の中に賑わいや商業施設はイメージが違うので、学術的なエリアであって欲しい。
- ・スポーツ施設が少ないのは分かるが、北山エリアに必要な分からない。
- ・甲子園のようなあこがれの場所を目指すのもありだと思う。文化イベントなどもできればなお良い。

（京都における体育施設の現状）

- ・大会などでみんなが使いたいと思うタイミングには、予約が重なって使えないことが多いので、大きな体育館の需要はある。

3 学生ワークショップでの主な意見

■共同体育館整備に向けた学生ワークショップの概要

<開催時期・実施概要>

実施時期：令和4年12月19日、令和5年2月16日、3月22日（計3回開催）

参加者数：延べ26名（府立大学在校生）

開催概要：府立大学の在校生全体に参加を呼びかけ、それぞれが求める体育館機能についてワークショップ形式で意見交換を実施
（ファシリテーターとして上林座長が各回に参加）

<ワークショップの経過> ※学生からの主な意見は次ページ参照

（第1回）体育館に求める機能等について意見出し（第1回開催以降もオンライン上で意見交換を実施）

（第2回）学生から出された要望を元に、諸室や配置について意見交換

（第3回）意見集約の上、規模や配置について意見交換し、整備案をとりまとめ

【ワークショップでのとりまとめ結果】

- 競技面は（バスケ）コート3面程度あれば十分で、大規模な観客席は不要
- 武道関係のクラブや文化系クラブの活動場所について拡充してほしい

■学生ワークショップで出された意見について

学生ワークショップでは、初回に学生の意見や要望を聴取した上で、規模や配置イメージについて議論を行った。（オンライン上でも、参加者から意見聴取を実施）

< 学生意見の概要 >

【設備等について】

- ・空調を入れてほしい

【競技面について】

- ・観客席は必要ない ↔ 大会開催時には一定の観客席が必要ではないか

【武道場について】

- ・竹刀や防具を置く収納スペース等がほしい。
- ・他校の学生やOBが来た時に、現状の畳（板張り）1面だけでは狭隘で、ミーティングスペース等も必要

【その他体育会系クラブからの意見】

- ・弓道場やアーチェリー場がほしい。

【文化系クラブの活動場所について】

- ・音楽系サークルが同時に利用できるだけのスペースがほしい
- ・ピアノのある部屋でミニコンサートが開催できるとよい

【その他施設について】

- ・クラブボックスは現状より大きくし、防音性や防犯性を高めてほしい
- ・更衣室は大会での利用や他校利用を想定して複数または分割で利用できるとよい

4 共同体育館が備えるべき機能等について

府民向けワークショップ・学生ワークショップの結果を踏まえながら、整備内容の検討を行う。

<府民WSでの意見>

- ・府民が気楽に使えるトレーニングルームや雨の日でも走れる場所などが欲しい
- ・大学体育館なので規模や観客席は必要最小限でよい
- ・普段はコートを広く使えたり、プロスポーツにも対応したりできるよう、観客席を可動式にしてはどうか
- ・大会などでみんなが使いたいと思うタイミングには、予約が重なって使えないことが多いので、大きな体育館の需要はある
- ・災害時には避難場所等として機能できるようにしてはどうか

<学生WSでの意見>

- ・競技面は（バスケット）コート3面程度あれば十分で、大規模な観客席は不要
- ・武道関係のクラブや文化系クラブの活動場所について拡充してほしい

<第1回・第2回会議における委員意見>

- ・学生の意見や地域の意見を踏まえた上で、府の意見とすり合わせ、北山エリアにある大学の施設として何が最適化を見出していく必要がある
- ・学生をはじめとして若者を含めた幅広く意見を聞くというインクルーシブなプロセスも重要
- ・国際大会や全国大会が開催できるような大きな体育館が府内には少ないので、そうした大会ができる仕様を検討してほしい
- ・地域の方が日常的に利用しながら、非常時には災害対策にも活用できる施設がよい
- ・温暖化が避けられない中、エネルギー性能・断熱性の高いものを作り、光熱費ができるだけかからずに、安全に活動できるようにすることが大事
- ・コストや資金調達の面も考慮して、どのくらいの規模でどのような機能が必要か考えていくべき

<今回、御検討いただく内容>

府民ワークショップ及び学生ワークショップで出された御意見や、これまでに各委員からいただいた御意見を踏まえ、北山エリアにおいて共同体育館にどのような機能を備えることが望ましいか、御意見を頂戴したい。